



久辺中学校区CS推進学校訪問について

10月18日(火) 久辺中学校区CS推進学校訪問が久辺小学校で開催されました。久辺小学校は令和4年度の学校グランドデザインを～夢に向かって学び続ける子どもの育成～とし、地域と共にある学校づくりを掲げ、日々の教育活動に努めています。今回の訪問は小中の職員と職員の数を上回る保護者や地域の方々が参加し、三者が同じ視点で授業を参観し、同じ議題で協議を行うなど充実した日となりました。

公開授業は、少人数教室の自立活動、4年生の総合的な学習の時間、5年生の外国語の授業が公開されました。少人数教室では3名の児童が「お気に入りの本の好きな場面を、相手に伝える事ができる」をねらいに、たくさんの参観者の中で緊張しながらも相手に伝え合い、担任が児童の頑張りを称賛する場面が印象的でした。4年生の総合学習の時間は久志区探検をふり返るためのスライド作りを行いました。担任の先生のていねいな優しい声かけの中、児童も落ち着いた態度で互いを理解し合い、支え合っている支持的風土のある学級でした。5年生は6人の地域のゲストが各グループに入り、子どもたちが用意した英語での質問に英語で答え、できることやできないことをインタビューした後は全体に発表し、ゲスト一人一人からコメントを頂きました。授業後のふり返りの場では、参観した先生方、保護者そして地域の方々が、児童や授業の様子に意見を出し授業者の授業や学級経営の想いを共有しました。



全体会では、参加者が8つのグループに分かれ、久辺中校区の『めざす子ども像』について熟議し、各グループから出た話の内容が全体に共有されました。学校で浸透し始めている『久辺まる』(仲良く・助け合う)を地域の中でも使っていきたいなどの感想も出ました。今後今回の熟議で出た意見も基に校区の『めざす子ども像』の作成につなげていくことを全体で確認し協議が終了しました。

